



乃木小だより

～ かしこく つよく やさしい子 ～

「顔晴れ」＝ 声出せ 汗出せ 知恵を出せ ＝

～まつえ湖南学園～
松江市立乃木小学校
令和7年3月12日
(文責) 校長 野津

＝ さあ150！ 新しい世界へ 顔晴れ 6年生 ＝

2月28日、「さあ150！ 新しい世界へ 顔晴れ 6年生」をテーマに「6年生を送る会」の本番を迎えました。この日に向けて、1～5年生は、卒業が迫った6年生に「おめでとう」と「ありがとう」の気持ちを伝えようと精一杯心を込めて準備を進めてきました。特に5年生は、全体の動きを視野に入れ、実行委員を中心に役割を分担しながら様々な方面に心を配り、頼もしく立派なリーダーシップを発揮しました。お世話になった6年生から伝統のタスキを受け継ぎ、5年生にとっても新しい世界で乃木小の次の歴史が作り出されるスタートの時が来たように感じました。

第1部では、普段の掃除や「なかよし広場」などの行事で活動を共にした「なかよし班」ごとに集まって和やかなひと時を過ごしました。2年生が作った招待状を受け取った6年生とゲームなどを楽しみ、1年生が作ったメダルのプレゼントや「なかよし班」のメンバーからの寄せ書きメッセージが6年生に贈られました。

第2部では、4年生が描いた6年生一人一人の似顔絵や、3年生が作ったたくさんの壁飾りで飾られた体育館にみんなが集い、全体会で盛り上がりました。「思い出のアルバム」と題したスライドショーでは、6年生がまだ入学間もない頃からの写真が次々と映し出され、大きな歓声が上がりました。そして、6年生からもクラスごとのパフォーマンスや在校生への感謝の気持ちを込めた素敵な「エール」が届けられました。今回が、今年度全校が集まる最後の集会となりましたが、全校みんなで合唱した「ずっとずっと」の歌声は、とても感慨深いものとなりました。

6年生にとっては、これまでの6年間、うれしいことや楽しいことばかりでなく、悲しいことや辛いこともたくさんあったはずです。重ねてきた数々の経験が糧となり、大きな成長を証明するこの日の発表につながったのだと感じました。6年生は3学期になってから卒業を意識する思いが徐々に強くなってきたと見受けられますが、この日は「本当に卒業するんだな」という実感が、今まで以上に胸に強く沸き起こったことと思います。

在校生と6年生、お互いの感謝の気持ちが響き合い、重なり合い、共に感じ合って、みんなの心が温かくなったかけがえのない時間となりました。

最上級生として乃木小学校を素晴らしい学校にしようと努め活躍した6年生。卒業式は3月18日。これからも自らの夢に向かって、「かしこく」「つよく」「やさしい」心で、大きく羽ばたいてください。新しい世界へ さあ、行こう！



= 「小学校のことを教えるよの会」 =

今、島根県の学校教育において、重視すべき視点の一つに「幼小の円滑な連携・接続」の取組があります。幼児教育と小学校教育は、環境や教育目的・教育方法などが大きく異なりますが、こどもたちの育ちは連続しています。幼児教育における「総合的な学び」と小学校からの「自覚的な学び」を「架け橋期」と呼ばれる接続段階で行ったり来たりしながらギャップを埋めていき、こどもの立場に立って、その連続性や一貫性を保つことが重要とされています。小学校においては、幼児期の生活経験をそこで終わらせず、いかに生かしていくかが重要です。幼児期に環境をとおして育まれたこどもたちのワクワクする気持ちを大切にするとともに、安心して学校生活を送り、一人一人が豊かな学びが進められるように努めていくことが求められています。

去る2月5日、乃木小学校では、1年生が、来年度入学予定の新1年生との交流会「小学校のことを教えるよの会」を行いました。新1年生が乃木小学校での過ごし方を知り、4月の入学後の生活に見通しをもってもらうとともに、現1年生にとっては、4月から上級生になることの自覚を高め、新1年生に優しくしようとする思いを抱くことをねらいとした活動です。来年度入学予定の各幼稚園・保育園等からたくさんの「年長さん」が来校し、限られた時間でしたが、乃木小学校の様子を体感してもらいました。

初めに体育館で全体会を行い、スライドで日頃の学校生活の様子を紹介しました。その後、各教室に分かれて、歌を歌ったり、本を読み聞かせたりして交流を深めました。1年生は、一生懸命、お兄さん、お姉さんぶりを発揮しました。昨年の今頃のことを思い出しながら自分たちの成長を感じ取ったかもしれません。

ご協力いただいた新1年生の保護者の皆様、及び各園の関係の先生方、ありがとうございました。4月9日には、「年長さん」が「1年生」として明るく元気に入學してくれることを楽しみにしています（本日現在で136名の予定）。新1年生の皆さん、あなたがたは、この先、乃木小のタスキを受け継ぎ、次の歴史を作っていくうえで主役になる人たちです。



= 1年間、お世話になりました ～令和6年度の終わりにあたり～ =

令和6年度がもうすぐ終わります。乃木小学校創立150周年という節目の年に、「顔晴れ」をキーワードに、めざすところを共有し、学校生活の様々な場面で一人一人が「主体的に声をあげ、粘り強く汗をかき、知恵を働かせて」励む、いくつもの輝く姿がありました。こどもたちは、各学級での授業でも、学年で行う活動でも、全校が一緒に進める行事でも、いろいろなことを経験し、その中で試行錯誤し、仲間と協力しながらいくつもの学びを繰り返す、4月当初から大きく成長していきました。教職員に対しましても、いつもご協力いただきありがとうございました。至らぬところやご迷惑をおかけした部分も少なからずあったかと思いますが、私たちもさらに日々学び続けていく所存です。

そして重ねてのお願いになりますが、こどもたちがいきいきと過ごしていくには、大人が元気でいることが必要です。学校では、教職員が元気でいることがこどもの教育に大きく影響します。「教育は人なり」です。皆様方からの優しい励ましや心温まるねぎらい・感謝のお言葉が、学級担任をはじめ私どもの元気の素となり、こどもの成長につながります。これからも引き続き、こどもたち、教職員、保護者も含め一人一人の良さが発揮でき、たくさんの方々から「応援したい」と思われる学校であり続けたいと思っています。1年間、ありがとうございました。

